



# 2月 ようじぐみだより

2026. 2. 1

朝夕の冷え込みがきびしくなり、雪がちらつく日もありますが、日中は例年に比べて暖かい日があり、お部屋やホールでは、子どもたちの元気な声と笑い声が溢れています。子どもたちは、雪が積もることを心待ちにしながらも、園庭やお散歩にも出かけて、たくさん体を動かしてあそび、冬を楽しんでいます。今年度も残り2か月になりました。1日1日を大切にしながら、笑顔いっぱいの日々を過ごしていきたいと思います。



お部屋では、ぬいさしや織紙、3枚・5枚折りなどじっくりとあそぶことを楽しんでいます。すみれさんはお部屋での緊張もなくなり、ハサミ切りやハンコ押し、ひも縫いなど、自分が好きなあそびを選んであそんでくれています。さくらさんは、3枚織りや色鉛筆を使ったぬり込みの提示を始めています。また、自分のハサミを使い始めたお友だちもいて、大きくなっていることを感じてくれています。初めてのことは子どもたちの一人一人のあそぶ様子を見て丁寧に伝えているので、「つぎは〇〇ちゃんもできるかな?」とわくわくしながら待っているお友だちもいます。ばらさんは、3枚折りが長くなったり、新しく織紙を教えてもらい、取り組んでいるお友だちもいます。ゆりさんは、織紙の帯紙が細くなり、5枚織りから7枚織り、9枚織りへと数が増えているお友だちもいます。また、お友だちがあそび方で「わからない…」と困っていると、「こうしてするんだよ」と、教ってくれる姿もあります。新しいあそびへの出会いや、あそび方が難しくなる中、子どもたち一人一人が大きくなってきていることを感じさせてくれます。あそびを通して、「できた!」という経験をたくさん増やして、楽しんでいます。



## 《すみれさん》

す1のお友だちは、お相手さんと一緒に給食の用意をしたり、ゆりさんにお着替えのお手伝いやトントンして寝かしつけてもらったり、たまに甘えてみたりとすっかり慣れてきました。お二階では基本的にグループのお友だちと一緒に活動していますが、ときどきす1のお友だちだけであそぶ時間をつくったり、わかばさんに行って1階のすみれさんと一緒にあそぶ時間を作り、子どもたちが安心して過ごせるようにしています。

ゆりさんが小さいお友だちのお手伝いをしている様子を見て、ばらさんが“どうお手伝いしたらいいのかな?”と様子を伺いながらも、自分なりに声をかけてくれる姿が見られます。また、さくらさんの中にも、お相手さんについていながらお手伝いする様子をそばに寄ってのぞき込み、“見るお手伝い”をしてくれているお友だちもいます。そんな縦割り保育だからこそお手本になる姿が身近にあり、憧れになり、真似をすることが出来ます。次は、す2のお友だちがお引越ししてきます。グループ発表が終わり、ドキドキしているす2のお友だち。楽しみに待っていたす1のお友だち。新しいお友だちが増えることが嬉しいさくらさん、ばらさん、ゆりさん。それぞれのグループに新しいお友だちを迎えて、楽しく過ごしていきます。

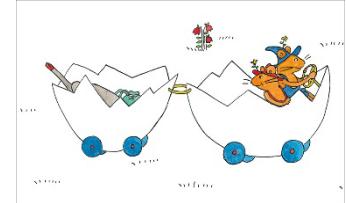
## 《すこしづつ》

ゆりさんは、小学校に向けて少しずつ準備を始めていきます。すみれさん、さくらさん、ばらさんが給食を食べているときには、ホールで歌や楽器を使った合奏の練習、集団遊びなどを楽しみ、その後ベット運びをしてから給食の準備を始めることで、小学校の給食の時間に合わせて食事の時間をずらして行きます。また、お昼の時間にはおわかれ会で渡すお相手さんへのプレゼント作りを頑張っています。「ないしょにしてよろこんでもらおうね!」と言ってこっそり作っているので、おわかれ会の日まで内緒にしてあげてください。実は、すみれさん・さくらさん・ばらさんからもゆりさんへのプレゼントを作っています。それをお相手さんが喜んでくれるようにプレゼント作りをしている子どもたちの表情から、これまで一緒に過ごしてきたお相手さんとの思い出を感じ取ることが出来、暖かい気持ちにさせてもらっています。少しずつ少しずつ、新しいステージへとステップを踏み始めている子どもたちです。

## どうぶつグループ

みんなが楽しみにしていたぐりとぐらが乗っていた『たまごのくるま』を作りました!ゆりさんがぬいさしで可愛い車を完成させると、“このくるまでドライブいこう~”とワクワクが止まらない子どもたち。『道には信号もあるよね…くねくね曲がった道路にしよう~!』と想像がたくさん広がっていますよ♪ぬりこみやぬいさし、織紙などをみんなで楽しみながらお部屋の壁面で季節を感じられる道を作っていました。

これから春に向けてどんな道が出来上がっていくのでしょうか♪  
また出来上がったときには、お家の人们も見てもらえたたらと思います。  
お楽しみに♪



## ことりグループ

冬になり、じっちょりんの新しい絵本をみんなで読みました。絵本のような雪は積もらず、霜柱も見つかりませんが、子どもたちはじっちょりんのおじいちゃんおばあちゃんのおうちの中をすっかり気に入って、「ことりさんのおへやもハートでいっぱいにかざりつけよう!」と、アイディアを出してくれました。みんなで協力して、ぬり込みや縫いさし、織紙でハートを作り飾り付けを始めると、ことりさんだけでなく、どうぶつさんやさかなさんのお友だちも一緒に作って楽しむ姿が見られ、子どもたちの“たのしい!”がどんどん広がりを見せています。

「そういえば、おてがみのおへんじないね…」とお散歩のときに書いたお手紙を思い出した子どもたち。じっちょりんがどこにいるのかわからないので、公園やお外を歩いている時には「お手紙待ってるよ」と声をかけながら、お手紙が届くのを楽しみに待っています。



## さかなグループ

子どもたちが大好きな絵本「忍者つばめ丸」。絵本の前の忍者の手あそびの歌はみんなが覚えて楽しんで歌っています。つばめ丸の絵本には続きがあり、新しい絵本は、巻物をおじいさんに届けるという初任務のお話になっています。さかなグループでは子どもたちと最初の絵本を読み始めたころから、折り紙やぬいさしで手裏剣を作りたいと言ってくれていたので、お部屋でのあそびを楽しみながら飾っていきたいと思います。また、ゆりさんばらさんが好きな忍者のぬりえやさくらさんは手裏剣のぬりこみなども日々のあそびの中で楽しんで行きたいと思います。

